

# 活力新聞

発行所  
（株）シルクステビア  
志摩市浜島町浜島2902  
TEL (0599)-53-2055

## 突然新聞創刊を命じられた男

### 創刊をむかえて 〜ご挨拶〜

今月が創刊号となります  
「活力新聞」の発行担当の  
山本崇裕です。

活力。読んで字のごとく活  
きる力と書きます。楽しく  
生きることが活きるに通ず  
ると考えて、身近にある小  
さな出来事から、ホッとす  
る話などをご紹介しますこと



写真中央が三県の県境にあたる  
担当山本 想い出の一枚

でご覧頂く方々の活力の一  
助になれば幸いです。

活力と言ふ言葉で最初に  
思い浮かべるのは、私の祖  
母。普段は物静かではあり  
ますが、いざ旅行となれば、  
素晴らしい行動力でありま  
す。高速艇の到着が少し遅  
れたため、待ち遠しくて河  
原の端まで歩きだし、高速  
艇が到着するところには遙か  
向こうから辿りつけず、堂  
々と高速艇を待たしてしま  
う始末。高速艇を迎えにい

また、現在の私の活力の  
源と言へば、ひよんなこと  
がきっかけで出逢った、四  
国三大祭りの一つである  
『よさこい踊り』  
毎年8月の最終土日と暑さ  
もピークの季節に、全国津  
々浦々から演舞者が集い演  
舞するのです。この2日間  
だけで名古屋市内の人口  
が、おおよそ2万人ほど増  
えます。付き添いの父兄の  
方々などを含めるともう少  
し増えるかもしれませぬ  
ね。「高知よさこい」「北  
海道よさこい」と並ぶ全国  
的にも活気溢れる大会で  
す。

つたのでしょうか。

左記では以前旅行に行っ  
た際の写真を掲載していま  
すが、写真の川の真ん中が  
ちよūd「奈良県」「和歌  
山県」「三重県」の県境に  
位置していると聞き、静か  
な川の流れと緑あふれる大  
自然とかさね、感動したこ  
とを思い出します。

この『よさこい踊り』こそ  
が、私の生活の活力になっ  
ているように思います。



名古屋下真ん中祭り模様  
（写真右2番目）山本

### ステビア農法と 〜農業体験〜

そして今回、活力満点な  
方をご紹介します。ステビアの可  
能性を感じ、いち早くにス  
テビアを農業に取り入れ、  
ステビア農作物を栽培され  
ている小寺さん。

この日は地元の農業大学  
の学生さん達が15人程い  
らっしゃいました。お一人  
お一人に、畑のなんたるか  
を説かれながら、学生さん  
達に負けないほどパワフル  
のなかで200キロものジ  
ヤガイモを掘り起こされま

した。普段はこの作業を、  
一人の従業員さんと2人で  
されているとのことですが、  
私は普段使わない筋肉  
を無茶に使い、更には気温  
の高いなかで、しばらく動  
けなくなりました。  
この重労働のなかでも、「無  
理しなくていいからゆっく  
り」と、学生さんを時折気  
づかう小寺さん。

完全に活力負けですね。笑  
周囲を労う心遣いに感動と  
癒しをいただき、私の活力  
にも響いてきました。

今回はジャガイモ掘りを  
体験させていただきました  
が、こちらでは季節におう  
じた農業体験を開催されて  
おります。もうすぐベニ  
ルハウスのイチゴが出来て  
くる頃で楽しみが尽きませ  
ん。

事前にご連絡いただけば、  
ご家族そろっての農業



収穫したじゃがいも（ステビア農法）



体験ジャガイモ掘り（三重県津市）

体験ができるそうです。子  
供さんにはとても良い体験  
ができそうですね。連絡先  
【屋号】十兵衛【住所】三  
重県津市垂水町南が丘団地  
野鳥公園入り口補上ハウス  
【電話】090-33304  
-4335（小寺まで）

### 遊びのカタチ 〜活力あそび〜

だるまさんが転んだ。

小さい頃より馴染み深い遊  
びのひとつですが、最近ほ  
この「だるまさんが転んだ」  
で遊ぶ子供達の姿を見かけ  
ることも少なくなりました。  
元気に遊ぶ子ども達の  
姿は、時に周囲の大人にも  
良い活力を与えてくれま  
す。

先日、先にご紹介したよ  
さこいの休憩時間で、元氣  
に遊ぶ子供達の声が聞こえ  
ました。でも少し違うので  
す。「だるまさんが転んだ」  
ではなく、「だるまさんが  
驚いた!」と聞こえるので  
す。声につられていくと、  
「驚いた!」の掛け声にあ  
わせて、ビックリ顔でとま  
っている子どもたちの姿  
が。それを見てると、なん  
だか活力って、教えてもら  
った遊びを自分達がより楽  
しめるカタチに変えていく  
発想と行動力みたいなモノ  
からつくられるんじゃない  
かと考えていました。  
今回、突然の創刊でバタ  
バタの記事になってしま  
いましたが、これから沢山の  
活力情報をお届けしますの  
で、是非お楽しみにしてく  
ださい。11月創刊号 編集  
山本